

## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程			修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)	
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)	
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	公開年度			2025 年度入試		
	期			秋季	春季	
出題意図			研究活動に必要な外国語の運用能力を測る。			

解答例

(1)電子書籍は、小さな一つの端末に大量の書籍を安全に保存できるため、非常に便利である。一方、紙の書籍は膨大な保管スペースを必要とし、年月とともに劣化して、ほこりをかぶり、手に取りにくい存在になってしまう。

(2)以上のように多くの利点があるにもかかわらず、紙の書籍はいまなお社会のあらゆる層で非常に高い人気を保っている。これは、人々が紙の感触を手で感じ、自分でページをめくることを好むからである。

**2025（令和7）年度 秋季**  
**大学院修士課程 入学試験問題**  
**《言語文化専攻・思想文化専攻・地球市民学専攻》**  
**【外国語科目・語学科目：英語】**

次の英語の意見文を読んで、下線部（1）（2）を日本語訳せよ。〔100点〕

In recent years, electronic books have become much more popular than they used to be as they provide a convenient alternative to the traditional paper book. Indeed, some people read almost exclusively on electronic devices. However, others always use paper books. Although it is obvious there are advantages and disadvantages to both types of media, e-books are the better option with far more benefits to readers.

E-books have a number of significant advantages over paper books. Perhaps the most important of these is the convenience. (1) E-books are incredibly convenient as they can store a huge number of volumes safely on one small device, whereas paper books take up an enormous amount of space and deteriorate in condition over the years, becoming dusty and uninviting. Other points related to convenience are that e-readers can be very user-friendly. They allow instant dictionary access and note-taking functions to assist the reader, and also enable readers to adjust the brightness of the screen and the size of the letters. Furthermore, new books can be purchased online and arrive instantly on the device while paper books have to be bought at a shop or online and then delivered at a later date. An additional benefit is that e-books do not consume the precious resources needed to make paper.

(2) Despite all the advantages of e-books outlined above, paper books are still extremely popular with all sections of society. This is because people like to feel the paper in their hands and turn the pages themselves. It is also widely believed that reading on blue light emitted from the screen could damage the eyesight. Additionally, paper books do not require recharging, so they can be used for an unlimited length of time.

Taking all the advantages and disadvantages into consideration, in my opinion, e-books are clearly the better option. The convenience far outweighs the few negative issues concerning eyesight and recharging. In future, these issues will be resolved and then the majority of people will be using e-books, resulting in fewer trees being cut down.

【出典】 Sarah Morikawa, Luke Harrington, 平岡麻里、『IELTS 完全対策&トリプル模試』  
DHC、2014



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程			修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)	
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)	
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	公開年度			2018 年度入試		
	期			秋季	春季	
出題意図			研究活動に必要な外国語の運用能力を測る。			

解答例	問Ⅰ	<p>(1) 私たちのプレゼントは祖父にはあまり気に入られませんでした。</p> <p>(2) この手紙を書いたのは先生で、私ではありません。</p> <p>(3) 私は去年までスペイン語を習ったことがありませんでした。</p> <p>(4) 大雨になった場合には、私たちは遠足を中止しなければならないでしょう。</p> <p>(5) 私のクラスには30人の学生がいて、そのうち2人が外国人です。</p>
	問Ⅱ	<p>ピエトロ・ベンボは1470年3月20日、ベルナルド・ベンボとエレナ・モロシーニの子としてヴェネツィアに生まれた。彼の一家は、ヴェネツィア共和国の歩みと深く結びついたヴェネツィア貴族に属しており、ベルナルドはその中で献身的に大使という重責を担っていた。外交官として名声をもち、蔵書家、美術収集家でもあった父は、イタリア人文主義の著名人たちと緊密な交流を保ち、息子を外交の道へ導くため、若いうちから多くの旅に同行させ、文化界や貴族社会と触れ合う機会を与えた。</p>

**平成30年度 秋季**  
**大学院修士課程 入学試験問題**  
**《言語文化専攻・思想文化専攻》**  
**【外国語科目・語学科目：スペイン語】**

I. 次の(1)~(5)のスペイン語文を日本語に訳しなさい。【50点】

- (1) A mi abuelo no le gustaron mucho nuestros regalos.
- (2) Esta carta la escribió la profesora, no yo.
- (3) Hasta el año pasado yo nunca había aprendido español.
- (4) En caso de que llueva mucho, tendremos que suspender la excursión.
- (5) En mi clase hay treinta estudiantes, de los que dos son extranjeros.

II. 以下のスペイン語の文章を日本語に訳しなさい。【50点】

Pietro Bembo nació en Venecia el 20 de marzo de 1470 de Bernardo Bembo y Elena Morosini. Su familia pertenecía a la aristocracia veneciana ligada al devenir de la *Serenissima*, en la que Bernardo desempeñó con dedicación la ardua tarea de la embajada. Prestigioso diplomático, bibliófilo y coleccionista de arte, el padre mantuvo estrecho contacto con las figuras destacadas del humanismo italiano y no dudó en hacerse acompañar tempranamente por su hijo en mucho de sus viajes para encaminarlo, ya de joven, a la carrera diplomática y permitirle entrar en contacto con el mundo de la cultura y la aristocracia.

(Oriol Miró Martí, Introducción a *Prosas de la lengua vulgar*)

注

Pietro Bembo : イタリアの詩人

la *Serenissima* : ヴェネツィア共和国



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程			修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)	
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)	
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	公開年度			2012 年度入試		
	期			秋季	春季	
出題意図			研究活動に必要な外国語の運用能力を測る。			

解答例

ワイン：美食の国において、リヨン地方とローヌ渓谷は、ボージョレとコート・デュ・ローヌという二つの大きなブドウ栽培地から、洗練された食卓にふさわしい自然のお供を得ている。ボージョレのブドウ畑の大部分は、せいぜい18世紀にしかさかのぼらないのに対し、コート・デュ・ローヌのそれは、おそらくフランスで最も古いものである。というのも、最初のブドウ品種は紀元前数世紀にギリシア人によってもたらされたと考えられているからである。

ボージョレ・ワイン：ボージョレは、日中に喉を潤す飲み物としても飲むことができるし、また食事のあいだ中も飲むことができる。その軽さ、なめらかさ、そして果実味のゆえに、それは若く、冷やして味わうのが望ましい。

平成24年度 秋季  
大学院修士課程 入学試験問題  
《言語文化専攻・思想文化専攻》  
【外国語科目・語学科目：フランス語】

次のフランス語を日本語に訳しなさい。 [100点]

Les Vins (ワイン) : Pays du bien – manger , le Lyonnais et la Vallée du Rhône puisent aux deux grands vignobles du Beaujolais et des Côtes du Rhône le complément naturel à leurs tables recherchées. Alors que la majorité des vignobles du Beaujolais ne datent guère que du 18<sup>e</sup> s., ceux des Côtes du Rhône sont vraisemblablement les plus anciens de France puisque les premiers cépages en auraient été apportés par les Grecs plusieurs siècles avant notre ère.

Beaujolais (ボージョレ・ワイン) : Le Beaujolais peut être consommé comme boisson désaltérante au cours de la journée , ou tout au long d'un repas. Il se déguste de préférence jeune et frais en raison de sa légèreté, de sa souplesse et de son fruité.

\* bien – manger 美食、Le Lyonnais リヨネ地方、La Vallée du Rhône ローヌ渓谷、Côtes du Rhône コート・デュ・ローヌ

(出典 ; *Vallée du Rhône* , Michelin, 1996)

©MICHELIN



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程			修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)	
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)	
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	公開年度			2025 年度入試		
	期			秋季	春季	
	出題意図			研究活動に必要な外国語の運用能力を測る。		

解答例

新しい世代の社会史研究は、一羽の「醜いアヒルの子」から「白鳥」へと姿を変え、中国大陸の歴史学界、さらには学术界全体で、おおよそ30年の時間を経てきた。

いわゆる「新しい世代の社会史研究」とは、80年前の中国における社会史研究と比較して言うものである。後者は、もちろん1930年代の「社会史大論戦」という文脈での社会史だけを指すのではなく、この時期に現れたいくつかの社会経済史研究、さらには「社会史」という名こそ冠してはいないものの筆者の観点から見て社会史的な問題に注目していた研究をも含む。

改革開放がいつそう進むにつれて、中国の社会史研究もまた「復興」の30年を歩んできた。研究テーマと史料の多様性、研究方法の開放性、問題意識の革新性によって、社会史研究も豊かな成果をおさめ、20数年前のようにテーマの目新しさばかりが注目される状況ではない。

これらの成果は主に以下の点に表れている。まず、大量の民間文献が掘り起こされ、利用されるようになった。これは歴史研究における認識を豊かにし、従来の考え方を一部修正するとともに、これらの文献の基本的な解読方法を総括し、訓練することを重視せざるを得なくなった。次に、研究は大雑把でうわべだけの内容では満足しなくなった。社会史は社会科学における地域研究や、人類学・民族誌の「厚い記述」から刺激を得ようとし、既存の通説に盲従する概念化手法に対して批判を展開してきた。さらに、社会史研究では活力ある試みが次々と現れている。成熟しているかどうか、結論が妥当かどうかは問わず、他分野と比較して現状に甘んじて旧来の枠組みに縛られることが少なく、自己を批判的に振り返ることが多い。たとえば「地域横断」「在地化」「断片化」といった議論は、いずれもその表れである。

しかし、社会史が発展しつづけるためには、これまでに得られた成果をいかに継続するかに加え、目の前にある問題に対して正確な認識を持つことが欠かせない。筆者は多くの問題のうち、3つの方面をとりわけ重視しなければならないと考えている。

第一に、社会史研究はいかにして歴史学界と対話しうるのか、いかにして他分野が重大な歴史問題を論じる議論に関与しうるのか、という問題である。社会史研究は、一定期間の発展を経て、多くのテーマにおいて前例のない、あるいは前例の極めて少ない研究を行ってきたが、それでも主流である断代史や伝統的な専門領域との交流はなお少ない。往々にしてテーマから社会史であるか否かを判断され、さらには社会史研究者が対象とする時代がいつであるかを問わず、社会史研究者だと決めつけられ、その時代の研究者とはみなされない。このような截然たる区分は、われわれ学者の頭の中には明確な境界線、あるいは明確な定義があることを示している。つまり、何を研究するか、どのように研究するかによって、断代史研究者であると判定され、そうでなければ別の分類に入れてしまうのだ。西洋ではこのような状況はあまり見られない。たとえばアナール学派の社会史研究者は中世ヨーロッパの研究で名高い者が多いが、人々は「ああ、誰々は中世史の専門家ではないね、社会史を研究しているんだ」などとは言わないのである。

**2025（令和7）年度 秋季  
大学院修士課程 入学試験問題  
《言語文化専攻・思想文化専攻》  
【外国語科目・語学科目：中国語】**

以下の文章を日本語に訳しなさい。【100点】

新一代社会史研究从一只“丑小鸭”变成“白天鹅”，在中国大陆的历史学界以及整个学术界，经历了大约30年时间。

所谓“新一代社会史研究”，是相对80年前中国的社会史研究而言。后者当然不仅是指20世纪30年代“社会史大论战”意义上的社会史，也包括在那一时期出现的一些社会经济史研究，还有并未冠以“社会史”之名、但关注的问题在我看来是社会史的那些研究。

随着改革开放的不断深入，中国社会史研究也走过了它“复兴”的30年历程。由于研究主题和史料的多样性、研究方法的开放性和问题意识的创新性，它同样取得了丰硕的成果，已经不是20多年前只注重主题新奇的那种局面。

这些成果主要体现在，首先，大量的民间文献得到发掘和利用。这不仅丰富了历史研究的认识，使我们的一些既有看法得到修正，而且迫使我们重视对这些文献基本解读方法的总结和训练。其次，研究不满足于粗疏和泛泛，社会史力图从社会科学的区域研究和人类学民族志的“深描”获得启发，对盲从既有成说的概念化做法展开批判。再次，社会史研究不断出现具有活力的探索，无论是否成熟或结论确当，与其他领域相比，它较少故步自封，较多自我批判。比如关于“跨区域”、“在地化”、“碎片化”等等的讨论，都是这方面的体现。

但是，社会史的继续发展，取决于如何坚持此前取得的成就，还在于对目前存在的问题具有正确的认识。我认为，在诸多问题中，有三方面的问题特别值得重视和思考。

第一个方面，社会史研究如何与史学界对话？如何介入其他领域对重大历史问题的讨论？社会史研究虽然经历了一段时间的发展，在许多主题上进行了前所未有或少有的研究，但与主流的断代史或传统的专门领域交流还是很少，人们往往只是从主题的分类上判断是否为社会史，甚至无论社会史研究者的主要研究时段在哪里，便基本上认定他为社会史研究者，而非该时段历史的研究者。这样一种截然的区分，说明我们的学者头脑里有一个明晰的界限，或者有某种明确的定义，认为研究什么的或怎样研究的就是断代史研究者，否则便可以归入他类。这种情况在西方不太多见，比如年鉴学派的社会史学者多以研究中世纪的欧洲著称，但人们不会说：“哦，某某不是中世纪史专家，他是研究社会史的！”

“导论”，赵世瑜《大河上下：10世纪以来的北方城乡与民众生活》山西出版集团，2010年



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程			修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)	
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)	
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	公開年度			2025 年度入試		
	期			秋季	春季	
出題意図			研究活動に必要な外国語の運用能力を測る。			

解答例

(1)アメリカの歴史の初期、移民の大多数がヨーロッパ諸国から来ていた時代には、文化的同化が重視されていた。すなわち、移民は「アメリカ人になる」こと、そして自らの文化的アイデンティティを捨てることを求められていたのである。

(2)マルチカルチュラリズムとは、移民が自らの文化を保持すべきであり、国家の中に存在するさまざまな文化が平和的に相互作用すべきだとする考え方を指す。すべての文化集団は、対等な存在として尊重されなければならない。

**2025（令和7）年度 春季**  
**大学院修士課程 入学試験問題**  
**《言語文化専攻・思想文化専攻・地球市民学専攻》**  
**【外国語科目・語学科目：英語】**

次の英文を読み、下線部（1）（2）を日本語訳せよ。〔100点〕

The term *multicultural* refers to nations that have diverse cultural groups, usually as a result of immigration, while the term *intercultural* refers to the diversity among separate nations. We frequently hear people refer to US society as multicultural. Certainly, the United States is culturally diverse, and has always taken pride in the fact that it entails a nation of immigrants. Some people attribute America's strength as a *state* (a concept generally defined as a political/legal unit that includes at least a nation, territory, government, sovereignty, and diplomatic recognition) to its cultural diversity, which is a source of pride for many Americans. (1) Earlier in US history, when a majority of the immigrants came from European nations, there was an emphasis on cultural assimilation; that is, immigrants were urged to “become Americans” and leave behind their cultural identities. The “melting pot” was the metaphor used to describe a nation where immigrants all blended together to become one as Americans. Historically, many nations have dealt with immigrants by requiring that they assimilate to the majority culture; this approach is sometimes referred to as *monoculturalism*.

Today, we have moved away from the “melting pot” view of immigration, and have adopted a policy of multiculturalism (sometimes referred to as the “salad bowl” approach). (2) The term multiculturalism refers to the view that immigrants should preserve their cultures and that all the different cultures within a state should interact peacefully; all cultural groups should be treated with respect as equals. Such ideas are currently and often associated with the liberalism perspective in international relations literature. The term “multiculturalism” was first used in 1957 to describe Sweden. Then in the late 1960s in Canada the *Report of the Royal Commission on Bilingualism and Biculturalism* recommended the implementation of an official government policy of multilingualism and multiculturalism.

【出典】 Sadri, Houman A. & Flammia, Madelyn. *Intercultural Communication: A New Approach to International Relations and Global Challenges*. New York: The Continuum International Publishing Group, 2011



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程		修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏
		思想文化専攻	思想文化		
		地球市民学専攻	地球市民学		
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏
		思想文化専攻	思想文化		
		地球市民学専攻	地球市民学		
	公開年度		2010 年度入試		
	期		秋季	春季	
出題意図		研究活動に必要な外国語の運用能力を測る。			

解答例

デ・ソリスは一口コーヒーを飲み、コシマに微笑みかけた。  
「わかっています、これはとても複雑に聞こえますよね。でも、ほかの言い方では、私が何者なのかをあなたに説明することはできないのです」  
コシマはただうなずいた。  
「当時のアムステルダムは寛容な都市でした」とその老女は続けた。  
「おそらくヨーロッパで最も自由な都市だったでしょう。市当局は移住してきた改宗キリスト教徒たちに、ユダヤ教の信仰に立ち返ることを許しました。しかしマラーノたちは、自分たちが何者であるのか、カトリック教徒なのかユダヤ教徒なのか、もはや自分でもわからなくなっていました。長い間すでにカトリックの信仰を実践していたのですから。ドイツ、ギリシア、イタリアからラビたちが来て、マラーノたちをユダヤ教へと回帰させなければなりませんでした。こうして17世紀初頭、アムステルダムに最初のユダヤ人共同体が成立しました。東方のユダヤ人たち、つまりアシュケナージたちもここにやって来たため、それは急速に発展したのです。  
しかし、すべてのマラーノがユダヤ教へ戻ったわけではありません。カトリックのままだった者もいました。その中には私の祖先も含まれています。ですから私は、ユダヤ法のうえではユダヤ人ではないのです。しかしそれは、ナチスが私たちを迫害する妨げにはなりませんでした」

平成22年度 春季  
大学院修士課程 入学試験問題  
《言語文化専攻・思想文化専攻》  
【外国語科目・語学科目：ドイツ語】

以下の文章を日本語に訳しなさい。〔100点〕

De Soliz nahm einen Schluck Kaffee und lächelte Cosima an. »Ich weiß, das klingt sehr kompliziert. Aber anders kann ich Ihnen nicht erklären, wer ich bin.«

Cosima nickte nur.

»Amsterdam war damals eine tolerante Stadt«, fuhr die Alte fort. »Vielleicht die liberalste in ganz Europa. Die Stadtverwaltung erlaubte den einwandernden Neuchristen, sich wieder zum Judentum zu bekennen. Aber die Marranen wußten selbst nicht mehr, was sie waren, Katholiken oder Juden. Zu lange hatten sie schon den katholischen Glauben praktiziert. Es mußten erst Rabbiner aus Deutschland, Griechenland und Italien kommen, um die Marranen zum Judentum zu bekehren. So entstanden Anfang des siebzehnten Jahrhunderts die ersten jüdischen Gemeinden in Amsterdam, die rasch wuchsen, weil auch Juden aus dem Osten, die Aschkenasim, hierher kamen.

Doch nicht alle Marranen kehrten zum Judentum zurück. Manche blieben katholisch. Darunter auch meine Vorfahren. So bin ich, nach jüdischem Gesetz, keine Jüdin. Was die Nazis allerdings nicht daran hinderte, uns zu verfolgen.«

注) De Soliz: 人名

Marranen: 「マラーノ」(イベリア半島でやむなくキリスト教に改宗したユダヤ人の蔑称)。文中では、Neuchristen とも呼ばれている。



## 清泉女子大学大学院 過去問題

これまでに志願のあった科目について、最も新しい問題の情報を公開します。

なお、公開されていない科目は志願のなかった科目です。

また、一義的な解答例を示すことが難しい問題は、その公開を省略します。

課程			修士課程			
公開 科目	専門科目	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	外国語科目 語学科目		英語	スペイン語 (地球市民学専攻を除く)	フランス語 (地球市民学専攻を除く)	
			ドイツ語 (地球市民学専攻を除く)	中国語 (地球市民学専攻を除く)	漢文 (言語文化専攻・地球市民学専攻 を除く)	
	小論文	言語文化専攻	日本語圏	英語圏	スペイン語圏	
		思想文化専攻	思想文化			
		地球市民学専攻	地球市民学			
	公開年度			2023 年度入試		
	期			秋季	春季	
出題意図			研究活動に必要な外国語の運用能力を測る。			

解答例

先君の諱は惟寛、字は伯栗、またの字を千秋と言った。姓は頼氏で、通称は彌太郎であった。祖先は備後三原の人で、小早川氏に仕えていた。家は災難に遭って系譜は失われてしまい、二本の刀と一本の槍だけが残った。高祖父の道圓君に至ってはじめて安芸竹原に移り住んだ。曾祖父の道喜君、祖父の善祐君はみな農耕を生業とした。善祐君は亨翁君を生み、父子とも清廉かつ誠実なことで知られ、郷里で尊敬されていた。亨翁君の妻、道工氏は、延享三年丙寅六月晦日に竹原の旧宅で先君を生んだ。生まれて数年で文字を書くのを好むようになり、亨翁君夫妻は喜び合った。「父は私に『男の子が生まれたら、儒者にせよ』と言い残した。その通りになりそうではないか。」しかし、さびれた田舎には師も学友もおらず、家の蔵書もわずか数冊で、埃まみれでボロボロになっていた。そこで、それらを携えて文字のわかる地元の医師に就いて句読を習った。(中略) 明和甲申(元年)、先君は十九歳で病を得て、関西方面に医者を探しに行った。しかし行く先々で出会うは田舎者ばかり。たまたま堺浦に至り陶齋趙翁(趙陶齋)と出会った。趙翁は書家として名をなし、自分にかなうものなどないと自負していたが、先君を一目見るや奇才であるとし、これなら指導できると言った。それゆえ、趙翁のもとで学んでいた森田士徳らも、みな先君に心を寄せることになったのである。

二〇二三（令和五）年度 秋季

大学院修士課程 入学試験問題

《思想文化専攻》

【語学科目：漢文】

次の漢文を現代日本語に訳せ。

先君<sup>(一)</sup>諱惟寛。字<sup>(二)</sup>伯栗。一字千秋。姓頼氏。通稱彌太郎。其先備後三原人。仕小早川氏。家罹災。失其系譜。獨存二刀一槍而已。至高祖道圓君。始徙安藝竹原。曾祖道喜君。祖善祐君。皆耕耨爲業。善祐君生享翁君。父子皆以廉介著。爲鄉里所敬信。享翁君配道工氏。以延享三年丙寅六月晦日生。君子竹原故居。生數歲好弄筆研。享翁君夫妻相賀曰。家爺囑我。苟有男兒。當教之爲儒。是其庶幾乎。而寒鄉絕無師友。家所蓄書屢屢數冊。亦塵煤斷爛。乃持就鄉醫識字者受句讀。<sup>(三)</sup>（中略）明和甲申君年十九。有疾。求醫上國<sup>(四)</sup>。所到皆田舎兒遇之。適至堺浦逢陶齋趙翁<sup>(四)</sup>。翁以善書著。傲岸不可一世。一見君奇之。謂其可教。故從翁游。者森田士德輩皆屬意焉。

（頼山陽「先府君春水先生行狀」）

〔注〕

（一）先君 自分の父を敬つて言う。

（二）字（あざな） 本名（諱Ⅱいみな）に代えて普段使用する名前。

（三）上國 関西方面

（四）陶齋趙翁 趙陶齋 書家